

十二支(動物)は覚えるための工夫だった!

十二支は、中国の王充(おうきゆう)という人が 民衆に十二支を浸透させるために抽象的であつた教訓を覚えやすくおみやがすいように動物に替えて文献を書いたことが始まりだそうです。「子・丑・寅...」という漢字の方が先で、動物を後から便宜上当てはめただけだとの説。だから鼠を子・牛を丑・虎を寅、卯を兎と通常の表記とは違う字なんですね。

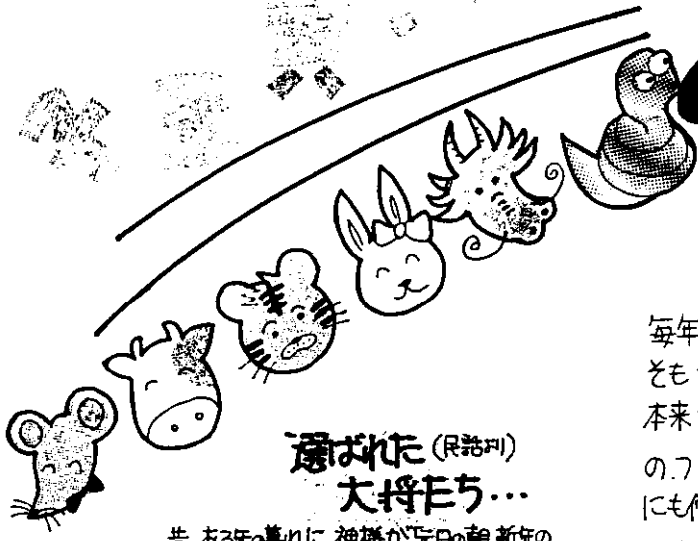
2022年は寅年
ぼくたち
うしとし!!
でもこの丑って
いたい...?

えと 枝の縁話

干支の縁起話

子 すぐに子孫の増加成長することから子孫繁栄の意味を持ち行動力と財を持つと言われます。
丑 肉は食料に力は労働力と社会と密接に関わる干支で粘り強く、敵意があるとされます。
寅 美しい毛皮の模様から前世は夜空の星と考えられていました。決断力と才知があるとされます。
卯 穏やかな様子から室内安全、はゆる姿勢から飛躍を表します。

辰 伝説の生き物である竜は権力者の象徴として扱われ、正義感と信用を持つと言われます。
巳 執念深いと言われるが思も忘れず「鬼返し」とも言われます。また探検心と情熱を持ちます。
午 人との付き合いが長い動物で人の役に立つ馬を大切にしました。情愛を分けると言われます。
未 群れをなすことから家族の安泰を示します。穏やかで人情に厚いと言われます。
申 山神の使いとされる信仰の対象としてもおみやがすい動物です。器用で臨機応変だとされます。
酉 時を知らせる動物。またとりこふと言われ商売などに縁起良いとされいます。世話好きと言われます。
戌 人との付き合いも長く社会性が強い思案な親しみ深い動物です。勤勉で努力家と言われます。
亥 猪の肉は万病を防ぐと言われ無病息災の象徴とされています。勇気と冒険心があつた言われます。



還された(民話) 大将Eち...

昔、ある年の暮れに、神様が「元日の朝新年のあいだに来た十一番目の者までを大将にしてやろう」と動物にお知らせを出しました。そして元日の朝に集まってきたのが、現在の十二支たち。
でも、寅は、この順番にはエピソードがあります。歩くのが遅い牛はいち早くたくとして出かけたのですが、その様子を見ていたねずみが牛の背中に飛び乗って、便乗し一番のりだした牛の前に飛び降りて一番になつてしまつたそうです。おはねずみに騙され、日遅れて到着し仲間に入らなかつたそうです。それで今でも怒らねずみを追い回しているんだとつておはね!!

毎年、この時期になると干支の話題を取にするようになりますが、そもそも干支は、何の意味を持っているのでしょうか?
本来十二支は、十二年で天を一周する木星の軌道上の位置を示すための、つまり、年を教えるための教訓でした。後に、「月」や「時」を教えるためにも使われるようになりました。時代劇などで「丑三つ時、なんぞ時を示すせりふもできたりしますよな。」

